

3. 2017 年度活動概要

本研究会 ESP 北海道は、本年度より「海外進出を試みる企業のミスコミュニケーション事例とその解決策のマニュアル構築」をテーマに研究を開始した。これまでの海外展示商談会における英語使用実態の参与観察などを通して得てきた、ミスコミュニケーションの起こりやすい状況に関する知見を活かし、グローバル人材の育成という視点から、ESP 教育の在り方を探りつつ、道内の中小企業における英語教育に資することを目指し活動してきている。

本年度も 2014 年から行っている国際商談会への大学生ボランティア通訳派遣の事業を継続して実施した。派遣前には、1) 貿易の基礎知識、各国のビジネス事情に関する座学、2) 出展企業のプロフィールと出展商品の調査、3) 模擬商談会の段階的なトレーニングなどの事前準備教育を行うとともに、国際商談会に該当学生を引率して参与観察を行なった。その参与観察の結果は次年度以降に生かすために集約し整理した。また、これまで 1 つの大学を中心に行ってきたこの取り組みを 200 万人都市の札幌全域に広めることを目標として、ターゲットとなる大学生の絞り込みを行うために、このような事業に関心を持つ学生たちの背景を探るべく、札幌近郊の約 7 大学の学生を対象として実施した海外派遣に関する意識調査の結果を分析した。この分析結果については、下記に記述する ABC 学会で発表した。

つぎに、研究成果の発表についてであるが、まず、香港で開かれた Faces of English 2: Teaching and Researching Academic and Professional English において「ESP in Japan; Past, Present and Look Ahead」と題して共同発表者の一人として参加した。また、上記の意識調査の結果分析については、ダブリンで開かれた Association for Business Communication 82nd Annual International Conference に参加し、「A Questionnaire Survey to Develop a Regional Program of Sending Students to Exhibitions Abroad as Volunteer Interpreters」と題して発表した。

授業や企業内英語教育で実施してきた活動の内容を精査し、所属メンバーの各大学にも拡げて実践してその効果を検証する予定である。この結果については、来年度フロリダで開催される Association for Business Communication 83rd Annual International Conference で発表する予定である。